

(対象期間:2018/2/12~2/16)

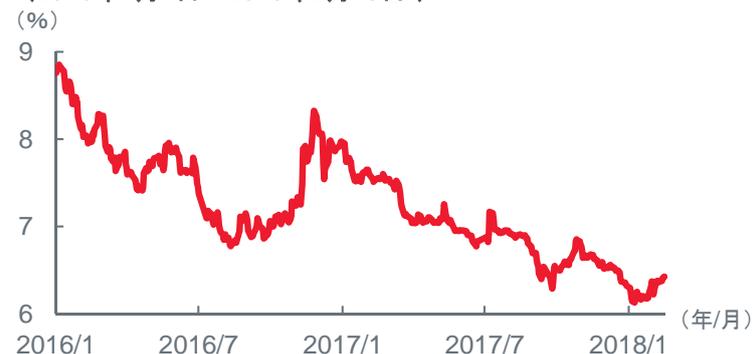
[株式市場]ジャカルタ総合指数の推移
 (2016年1月4日~2018年2月15日*)

[株式市場]

世界的に株式市場が回復する中で、インドネシア株式市場も堅調となりました。外国人投資家が売り越しとなる中で、前週に引き続き国内投資家からの買いがみられました。15日には6月に予定されている統一地方党首選の選挙戦がスタートし、2019年の大統領選の前哨戦として注目されています。

2018/2/9	2018/2/15*	変化率
6,505.52	6,591.58	+1.32%

*2月16日は祝日のため休場。

[債券市場]インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
 (2016年1月1日~2018年2月15日*)

[債券市場]

前週に引き続き米国債の利回りが上昇し、インドネシア国債の利回りも上昇(価格は下落)しました。13日に国債の入札が行われましたが、投資家の需要は弱く、利回りは更に上昇しました。15日、インドネシア中央銀行(BI)は政策金利を据え置きました。

2018/2/9	2018/2/15*	変化幅
6.373	6.426	+0.053

*2月16日は祝日のため休場。

[為替市場]インドネシアルピアの対円レートの推移
 (2016年1月1日~2018年2月16日)

[為替市場]

米ドルが全面安となる中で、国内投資家からの実需の米ドル買いもみられ小幅のルピア高米ドル安となりました。対円では円が対米ドルで大きく上昇したためルピア安となりました。

2018/2/9	2018/2/16	変化率
0.800	0.783	-2.05%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。